

The 33rd Annual Meeting of the Japan Academy for Health Behavioral Science
第33回日本保健医療行動科学会学術大会

健康でつながる調和的なライフに向けて
— 行動変容へのホリスティック・アプローチ —

日程 2018年6月23日(土)・24日(日)

【公開プログラム】のご案内

■ 23日(土)

<10:50~11:50>

基調講演「ナラティブと行動変容のからくりを脳科学から探る —科学の限界を見すえて—」吉岡隆之(第33回大会長)

<11:55~12:15> 沖縄慰霊の日「慰霊と平和の祈り」

<13:15~14:45>

シンポジウム I 「語る・聴く・書く」 看護師の立場から「共感を目に見える形にする看護」岡 美智代(群馬大学大学院)
セラピストの立場から「心理臨床におけるアセスメント面接のコツ」山崎久美子(防衛医科大学校)
聞き書き作家の立場から「聞き書きとバタフライ効果について」小田豊二(編集者・聞き書き作家)
指定討論 ナラティブ・コミュニケーションの立場から 中川 晶(ながわ中之島クリニック)

■ 24日(日)

<10:20~12:10>

シンポジウム II 「健康でつながる調和的なライフに向けて」

医療の立場から「生活から学び、生活へと還元する地域医療をめざして」高山義浩(沖縄県立中部病院)

健康教育の立場から「琉球大学ゆい健康プロジェクト」神谷義人(名桜大学)

死生学の立場から「人々の会話、現代社会から見えてくるもの —治療・痛み・死生観・ユタ・終末行動・終末期医療・AI—」
近藤功行(沖縄キリスト教学院大学)

<13:10~14:10>

特別講演「何が人を変えるのか —ホリスティックコミュニケーションの実際—」黒丸尊治(彦根市立病院)

※上記の基調講演、シンポジウム I、シンポジウム II、特別講演は【公開プログラム】として、沖縄の保健・医療・福祉関係者(学生を含む)の方は、1,000円で参加していただけます。

(プログラム内容は一部変更される場合があります。)
▼最新の情報は本学会ウェブサイトをご覧ください▼

<会場>
沖縄県男女共同参画センター
「ているる」
(沖縄県那覇市西3-11-1)
1階 ホール(メイン会場) [480人収容]

Photo by T. Yoshioka

●対象: 沖縄県在住・出身の一般市民 (一般市民の方々にもご参加いただけるように変更しました。)

●参加費: 1,000円 (当日受付でお支払いください。上記4つの【公開プログラム】への参加が可能です。)



■申込方法: 下記の本学会ウェブサイトの第33回学術大会のページの【公開プログラム】専用登録フォームから行ってください。

■申込期限: 2018年5月31日(木)

※当日参加も受け付けますが、準備の都合上、事前にお申し込みください。
当日参加の場合、資料等を準備できないことがあります。

大会長 吉岡隆之(大阪滋慶学園・奈良学園大学) 副大会長 高倉 実(琉球大学)

▼申込等の詳細は学会ウェブサイト参照▼

j a h b s

検索

第33回日本保健医療行動科学会学術大会実行委員会事務局

Email: 33jahbs@gmail.com

〒631-8524 奈良市中登美ヶ丘3-15-1 奈良学園大学内

第33回日本保健医療行動科学会学術大会 吉岡隆之

主催

日本保健医療行動科学会
The Japan Academy for Health Behavioral Science



中川 晶作

特別協力 沖縄県